

DxO OpticsPro 11

リリースノート

OS X

システム要件

- Intel Core™ i5 またはそれ以上
- メモリ要件 (RAM) : 4 GB (6 GB 推奨)
- 空きディスク容量 : 2 GB (6 GB 推奨)
- 10.10 (Yosemite)、10.11 (El Capitan)、10.12 (macOS Sierra)
- GPU 高速処理のサポートには、ビデオメモリ 512 MB のグラフィックカードが必要

###

DxO OpticsPro 11.4.4 の新機能

- Lightroom Classic CC のサポート
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro 11.4.3 の新機能

- macOS High Sierra (10.13) のサポート :
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro 11.4.2 の新機能

- 8 機種の新しいカメラのサポート :
 - iPhone 7, iPhone 7 Plus (JPG & DNG)
 - Canon EOS 77D / 9000D
 - Canon EOS 800D / Rebel T7i / Kiss X9i
 - Nikon D7500
 - Panasonic Lumix DMC GH-5
 - Pentax K-P
 - Sony Alpha 9
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro 11.4.1 の新機能

- 3 機種の新しいカメラのサポート :
 - Canon EOS M5
 - Lumix DMC LX10 / LX9 / LX15
 - Panasonic Lumix DMC G80 / G81 / G85
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro 11.4 の新機能

- 7 機種の新しいカメラのサポート :
 - Sony RX100 Mark V
 - Sony A99 II
 - Sony A6500
 - Nikon D5600
 - Panasonic Lumix DMC-TZ80 / ZS60 / TZ81

- Panasonic Lumix DMC FZ2000 / FZ2500
- Panasonic OM-D E-M1 Mark II
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro 11.3 の新機能

- 4 機種の新しいカメラのサポート：
 - Apple iPhone SE
 - Pentax K-70
 - DJI Phantom 4
 - Canon EOS 5D Mark IV *
* DxO OpticsPro は Canon 5D Mark IV のデュアルピクセルモードで撮影した RAW 画像に標準対応していますが、画像に含まれる追加情報は利用しません。
- 自動水平補正機能：
 - ワンクリックで画像を補正
- DxO OpticsPro が DxO ViewPoint 3 プラグイン版の新機能に対応
 - 自動パース補正機能
 - ミニチュア効果
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro 11.2 の新機能

- OS X 10.12 (macOS Sierra)のサポート
- 4 機種の新しいカメラのサポート：
 - Canon PowerShot G7X Mark II
 - Pentax K-1
 - Sony DSC-RX10 III
 - Panasonic Lumix DMC-GX80 / GX85 / GX7 Mark II
- ホワイトバランスレンジの拡張された新機能:
 - DxO OpticsPro 11 の色温度スライダーの最大値は 50,000,000、色相スライダーの最大値は 200 に広がりました（自動補正ではありません）。他のカメラで撮影した水中写真の色かぶりも補正できます
 - その他の青みがかった光（コンサートなど）のかぶりも削除できます
 - 色かぶりを削除した後は、DxO PRIME 2016 を使用して自動的にノイズを除去し、DxO ClearView で水中写真のディテールを引き出すことができます。
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro 11.1 の新機能

- 6 機種の新しいカメラのサポート：
 - Canon EOS 1DX Mark II
 - Canon EOS 1300D
 - Nikon D500
 - Olympus PEN E-PL6
 - Olympus PEN F
 - Sony A68
- 画像比較機能が全画面表示モードで利用可能、以下の機能を含む：
 - 補正前／補正後の素早い比較
 - 補正前画像と補正画像の 1 画面 2 分割プレビュー(水平／垂直)
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro 11 の新機能

- DxO Smart Lighting ツールでのスポット測光機能：顔やユーザーが指定したエリアの分析に基づいて補正
- ノイズ除去ツール DxO PRIME の処理速度が高感度撮影の画像で 4 倍向上
- DxO PRIME が、シャープさとボケ味のためのよりスムーズな推移を保持
- マイクロコントラストの自動モードの新規追加、ただし顔が検知された場合は非適用
- 赤目修正：顔の自動検知機能により、DxO OpticsPro が自動で赤目を補正。修正が困難なケースの場合、半自動モードと手動モードにて対応
- 新機能の画像の全画面表示により、快適に画像の処理タグ設定とレーティングが可能
- 補正スライダ使用時のプレビューのスピードアップ
- 8 機種の新しいカメラのサポート：
 - Canon EOS80D
 - Leica D-Lux Typ 109
 - Nikon D5
 - Olympus Tough stylus TG-4
 - Pentax K-S2
 - Panasonic Lumix DMC-FZ300 / FZ330
 - Ricoh GR II
 - Sony A6300

現時点で確認されている機能制限

- パース補正とボリューム歪像補正のツールを使うためには DxO ViewPoint のプラグイン版が必要になります。
- ダスト除去補正をする場合、補正結果のプレビューがズーム率によって多少違います。100%で表示されたものが補正結果を正確に反映します。
- Lossy DNG 形式のファイルは現在サポートされていません。
- Adobe Lightroom または Adobe DNG Converter 以外で変換された DNG ファイルに対するサポートは保証されていません。Adobe Lightroom または DNG Converter で変換されたかどうかに関わらず、サポート対象外のカメラに対応する DNG ファイルもサポートされていません。
- 選択的トーンツールは、DxO Smart Lighting の DxO OpticsPro 7 または 9 モードが選択されている場合は DxO OpticsPro 10 と同様に使用できます。
- OpenCL 高速化は利用できません。